



Custom Micron
Absolute Precision for the Elite Professional



Airbrush User's Guide

エアブラシユーザーズガイド



iwata *studio series*



～ トリガーを引く歓び ～

エアースプレーは、コンプレッサで圧縮した空気によって塗料を霧状に噴霧する道具です。ムラのない吹付けと、トリガー操作による筆や刷毛では得られない極細線・ボカシ・グラデーションなど多彩に表現できます。

表現性豊かなエアースプレーは、カスタムペイント・ホビー・クラフト・ファインアート・ネイルアート・ボディアートなどあらゆる分野で活躍しています。

また特性をよく理解していただく事で、新たな分野への活用も期待が広がっています。アネスト岩田は、今後ともお客様の様々な創造性をサポートしてまいります。

“トリガーを引く歓び”是非お確かめ下さい。

Contents

➤ ごあいさつ	1
➤ Introduction/The Airbrush	2～3
➤ Variation/エアースプレーの種類	4
➤ Choice/エアースプレーの選び方・コンプレッサの選び方	5～6
➤ Ready/作業を始める前に	7～8
➤ Joint/エアースプレー & コンプレッサ	9～10
➤ Set Up/接続方法	11～13
➤ Control/コンプレッサの設定	14
➤ Step/基本操作	15～16
➤ Cleaning/エアースプレーのお手入れ	17～18
➤ Exercises/エアースプレーテクニック(カスタムペイント)	19
➤ Exercises/エアースプレーテクニック(T シャツアート)	20
➤ Exercises/エアースプレーテクニック(ネイルアート)	21
➤ Exercises/エアースプレーテクニック(ボディアート)	22
➤ Q&A/Common Questions	23～24
➤ Try! /Lesson Text	21～22

ご使用前に説明書を必ずお読みいただき十分ご理解のうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

◎エアブラシとは？

エアー(空気)ブラシ(筆)と言うように、圧縮した空気によって、塗料を霧状に飛ばす道具です。エアブラシは単体で使用できず、コンプレッサやエアーホースなどの機器を組み合わせ合わせて使います。

エアブラシの種類や操作方法・メンテナンス方法などをご紹介します。



◎エアブラシの特長

エアブラシの大きな特徴として、筆では難しいムラのない塗装が簡単にできます。趣味の分野のほかに、自動車の小キズの補修やバイクのなどのカスタムペイントなどに用いられます。

また、距離や吐出量によって極細線やボカシ・グラデーションなど、多彩な表現が出来ます。個人での使用のほかに、染色・マネキンなど工業製品にも使用されています。

1本のエアブラシで水性アクリル・ウレタン・ラッカーなど様々な塗料が使用可能です。

圧縮空気を作り出すコンプレッサは、家庭用電源 100V で使用でき、ホビー／クラフトにぴったりです。



カスタムペイント

バイクや車をグラデーションやオリジナルデザインで豪華に演出してくれます。



ファインアート

エアブラシで陰影や立体感を表現。
鮮やかでリアリティあふれる作品が描けます。



ネイルアート

小さなキャンバスに描く、まさにアート！
エアブラシでネイルアートのバリエーションが広がります。



ボディアート&メイク

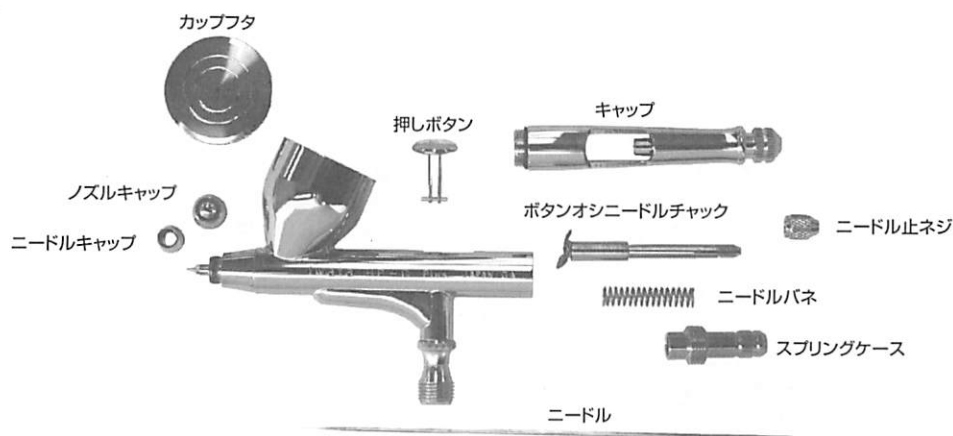
ワンポイントやベースメイクを演出します。
ムラなく自然に仕上がります。



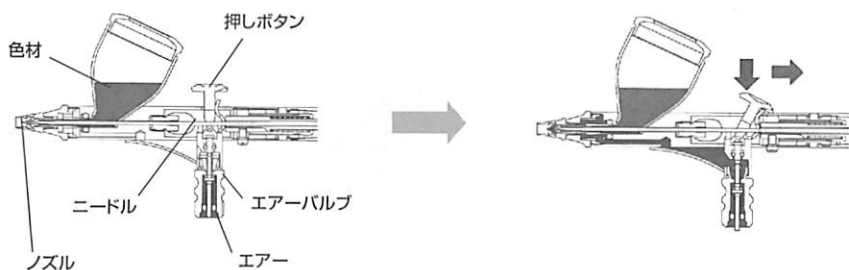
ホビー&クラフト

プラモデルやフィギュア・ルアーなど好きな小物にエアブラッシング
ボカシやグラデーションで筆とは違ったワンランク上の仕上がりになります。

◎エアブラシの各部名称



◎エアブラシの原理



コンプレッサで作られた圧縮空気はホースを伝わりエアブラシまで圧縮空気がきます。押しボタンを下に押すと、エアバルブが下に押され、エア回路が開き本体ボディに圧縮空気が流れます。

塗料をカップ入れ、エアブラシのボディ内を通って直径数ミリの細いノズル内に流れ込みます。押しボタンを後方に引くことにより、ノズルとニードル(細くとがった針のようなもの)に隙間ができ塗料が噴出されます。(通常はノズルとニードルが塗料をふさいでいる)このニードルとの隙間で塗料の噴出量を調整します。(押しボタンを引く量に応じて噴出量を調整します。)

※ニードルが適切な位置になかったり、曲がっていたりすると、またノズルが変形していたりすると、きれいな吹付けができません。

◎操作別



●シングルアクション

押すとエアと塗料と一緒に噴出するタイプ。操作が簡単で一定の量を吹き付けるときに便利です。



●ダブルアクション

押しボタンを下に押すとエアが出ます。押しながら(エアを出したまま)うしろにスライドすると塗料が噴出します。空気と塗料の操作が別々のため吹きながら塗料の量を変更できるなど、柔軟性があります。もっとも良く使用されるタイプ。



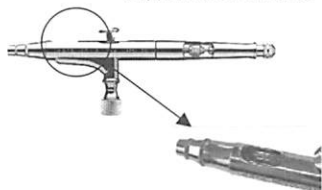
●トリガータイプ

構造(しくみ)はダブルアクションと同じ。少し引くと(一段吹き)エアーさらに引くと(二段吹き)、塗料が徐々に多くなります。トリガータイプで持ちやすく、スプレーガンに慣れている方におすすめ。

◎色材容器別

重力式 ……塗料を重力によって上から落ちる仕組み。

塗料を最後まで無駄なく使えます。吹き付けるワーク(被塗物)によって色材容器の量が異なります。



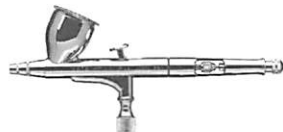
Aタイプ(容器用量 0.4ml)

ネイル・ルアーなど少量の塗料しか使用しない小さなワークの吹付けに。



Bタイプ(容器用量 1.5ml)

主にファインアート・ボディアート・メイクなどに使用されています。



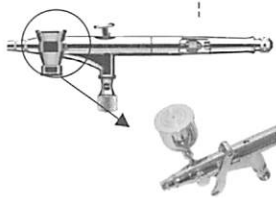
Cタイプ(容器用量 7.0ml)

アート・ホビー・カスタムペイントなどある程度の大きなワークに。昔から良く使用されている形。

吸上式 ……塗料を入れる容器が下についており、塗料を吸い上げる仕組み。



BCタイプ(容器用量 20・28・56・112ml)
ボトルタイプ。重力式タイプより大容量でボトルを変えるだけで、色替えが容易に出来ます。



SBタイプ(容器用量 1.5・7・15・28ml)
サイドボトルタイプ。左右にカップを取付可能で左向きの方におすすめ。上下にも角度が調節できます。構造の違いにより、重力式・吸上式があります。



CBタイプ(容器用量 15・30ml)
重力式で取外しが可能なタイプ。用途に合わせて容器カップを交換できます。

◎ノズル口径

エアブラシのノズル口径は0.2mm～0.5mmくらいが一般的に使用されています。塗装する物の大きさや使用する塗料の粘度にもよりますが、極細線から多少の広い面積を塗装するなら、ノズル口径0.3mmのエアブラシが一般的です。

細かい作業がメインの場合は0.2mm・やや大きい範囲を塗装する場合は0.5mmやそれ以上のものを選ぶと良いでしょう。ノズル口径が大きいくほど、つまりにくくなります。



エアブラシの中でもっとも重要なノズル！

ノズルは空洞になっていて、塗料とニードルが通ります。

小型の専用スパナで取付け・取外しが可能。

ノズル口径が小さいので、塗料が詰まりやすく、ニードルの出し入れなどにより破損の原因になりやすいので、丁寧に扱ってください。

破損すると、吹付けパタンの形状が悪くなったり、塗料が逆流してしまいます。

Variation



・こだわりのドロップインノズル

通常のノズル(左図)とは構造が異なり、はめ込み式になっている。

スパナを使用せず、ノズルモットセットはそのまま取付け・取外すことができる為、分解洗浄が容易。

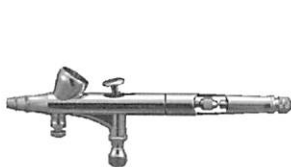
また、塗料噴出量が多くある程度の粘度塗料の対応が可能です。

(エクリプスシリーズのみ)

ドロップインノズルはノズルキャップ・ノズル・ニードルキャップを交換すれば口径の変更が可能

◎エアブラシの選び方

エアブラシの機種選定は基本的に吹付ける物の大きさ(使用する塗料の量)と作業性で選定するのが良いでしょう。



更に細かく

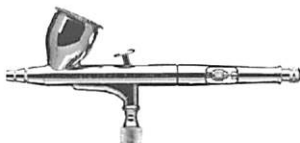
●小面積タイプ

ノズル口径Φ0.2mm

塗料カップ容量1.5ml

標準タイプよりノズル口径も塗料カップ容量も少なく、極細線や小さなワークの吹付けにおススメ！

用途例：ルアー・ネイルアートなど



◎標準タイプ

ノズル口径Φ0.3mm

塗料カップ容量 7ml

エアブラシといえばこのタイプ。ノズル口径0.3mmなら細線からグラデーションまで。オールマイティ！初めて買うならこのタイプ。

用途例：プラモデル・アート・模型など



更に広い範囲の塗装に

●広面積タイプ

ノズル口径Φ0.4～0.5mm

塗料カップ容量 20～40ml

標準タイプより更に広い面積を塗装する時に、ボルトタイプで色換えも容易。大きいワークのものにおすすめ。

用途例：ホビー・バイクのヘルメットやカスタムペイントなど

◎コンプレッサとの組合せ

エアブラシは圧縮空気(エア)によって塗料を塗布します。エアブラシに使用するエアはスプレーガンに比べ少ない量で使用でき、小型のエアブラシ専用コンプレッサで吹きつけが可能です。

ノズル口径が大きいほど、エアの使用量が多くなります。持ち運びに便利なコンプレッサやハイパワーコンプレッサなど様々なコンプレッサがあります。コンプレッサの機種によって空気量が異なるため、ノズル口径によっては圧力不足になり圧力を保持できなくなり、きれいな仕上がりになりません。

使用用途やエアブラシのノズル口径など、相性のよいエアブラシとコンプレッサを選びましょう。

エアブラシ シリーズ名/形式		コンプレッサ形式							
		IS-50 (簡易タイプ)	IS-800J (持運びタイプ)	IS-850 (持運びタイプ)	IS-875 (静音タイプ)	IS-925 (静音+ハイパワー)	IS-875HT (タンク付)	IS-925HT (タンク付+ハイパワー)	IS-975MB (タンク付移動式)
ハイライン	HP-AH	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-BH	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-CH	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-TH		○	○	○	◎	◎	◎	◎
ハイパフォーマンス プラス	HP-AP	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-BP	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-CP	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-BC1P	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ハイパフォーマンス	HP-BC2P	△	○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-BE1		○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-BE2		○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-E1		○	○	○	◎	◎	◎	◎
エクリプス	HP-E2		○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-BS		○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-CS		○	○	○	◎	◎	◎	◎
	HP-SBS		○	○	○	◎	◎	◎	◎
レボリューション	HP-G6					○	○	◎	○
	HP-AR	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-BR	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-CR	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-BCR	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-SAR	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-TR	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	HP-TRI	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
HP-TR2	△	○	○	○	◎	◎	◎	◎	

◎…最適 ○…適する △…0.1Mpaを保持、通常の吹付けが可能

※エクリプスシリーズは空気使用量が多いのでIS-50のコンプレッサでは圧力が下がってしまいお勧めできません。

※HP-G6エアブラシはIS-925HTのみ使用可能です。全開、丸吹きボタンでの吹付けで0.1Mpa保持できます。

◎便利アイテム

エアブラシを始めるにあたって必要な道具は、エアブラシ・エアホース・コンプレッサと塗料です。その他に作業環境を効率的にするアイテムもあります。作業用途に合ったエアブラシやアイテムを選びましょう。

エアブラシ周辺

●クイックジョイント(HPA-QJ)

エアブラシを簡単にエアホースから取外せます。



●ミニグリップフィルター(HPA-MGF)

エアブラシに直接接続するフィルタ。ホコリや水分を効率よく除去します。グリップ感も向上します。

ジョイント部分



●5連バルブジョイントHPA-VJ5)

レギュレータやコンプレッサに取付し、5本までホースを接続できるジョイント。バルブロック付で個別に空気調節が可能です。



●三叉ジョイント(AJ-1)

エアブラシを2本接続できるジョイント。安価タイプ

洗浄時アイテム

●エアブラシクリーニングポット(HPA-ACP)

洗浄時や不要な塗料を捨てての吹き用のポット。作業環境を整えます。



●エアブラシハンガ(HPA-H2)

塗料が入ったままでエアブラシを2本立てかけられます。レギュレータも取付可能です。



●エアブラシウォッシングブラシ丸筆(HPA-WB1)平筆(HPA-WB2)
ナイロン製で筆先がよれにくく、洗浄時に活用するウォッシングブラシ。



◎作業環境を整える

エアブラシを行う際は、ホコリは大敵！！

部屋や作業机をキレイにしましょう。ホコリや汚れがあると仕上がりに影響します。

また、吹付ける塗料の量にもよりますが、周りに飛散することがありますので、周囲に布をかぶせたり、新聞紙などを敷いて、汚れ防止をしましょう。

ダンボールで簡易ブースを作ったり、塗装ブースを使って、飛び散り防止することも効果的です。

服装は汚れてもよい作業着やエプロンなどがよいでしょう。



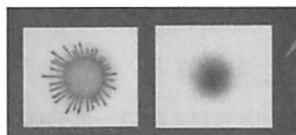
◎塗料について

エアブラシでは様々な種類の塗料を吹付けることが可能です。塗料を薄めるときは、専用の薄め液を使用しましょう。違う種類のを混ぜると、塗料が固まったり、変質することがあります。

薄め液の割合は、塗料によって異なります。塗料粘度の目安は水～牛乳程度の濃さにしましょう。筆で使用するより、薄くするとよいでしょう。

濃すぎると、周囲に飛び散っている粒子が粗くなり、薄すぎると液ダレしてしまいます。

右図のようになってしまった場合は、エア圧力や塗料の粘度（濃さ）をもう一度確認してください



薄い ← 粘度 → 濃い

◎塗料の種類

用途例	カスタムペイント	イラスト・ファインアート	サインペイント	ホビー			美容関係		
				プラモデル・模型	T-シャツ・染色	クラフト	ネイルアート	ボディアート	メイク
塗料の種類	ウレタン塗料	水彩絵具 ウレタン塗料	ポスターカラー	ラッカー系塗料	専用テキスタイルカラー (水性アクリル系)	ペンキ	専用水性アクリル	専用色材	専用ファンデーション
薄め液	ウレタン塗料 専用シンナー	水またはシンナー	水	ラッカーシンナー	薄めず使用できます		薄めず使用できます		
洗浄液	洗浄シンナー	水またはシンナー	水またはクレーナー	洗浄シンナー	水またはクレーナー		水またはクレーナー	アルコール	専用クリーナー

エアブラシで溶剤系塗料を使用する場合は、パッキンが耐溶剤性のパッキンであるか確認しましょう。

直射日光のあたらない、涼しい場所に保管してください。

使用後塗料が残った際は（少量の場合）新聞紙などに染込ませ乾燥させます。新聞紙は可燃ごみとして捨ててください。

使い終わった塗料容器は地域の廃棄支持に従ってください。

◎塗料を使用する際は . . .

吹付け作業をするときは、火気厳禁です！

シンナーや溶剤系塗料は引火性があり、を使用する場合は必ず避けたところで使用してください。火のそば、ストーブやファンフーターの前も危険です。

吹付け作業をするときは換気扇を使用したり、窓を開け、換気の良いところで使用してください。また長時間作業する場合は休み時間をとりましょう。

飛び散り防止、目や皮膚を守るため、保護具（メガネ・マスク・手袋）を着用してください。



◎コンプレッサを使用する前に

コンプレッサを設置するときは、ぐらついた台の上や高い棚など不安定な場所に置かないで下さい。落ちたり倒れたりしてけがの原因となり危険です。適切な場所に設置し、コンプレッサの電源スイッチが“OFF”になっているのを確認し、電源コードをコンセントに差し込みます。電源スイッチを“ON”にし、圧縮空気を吐出することを確認し、その状態で5分程度試運転を行ってください。

異常音(カンカン音等通常と異なる音)が無いか確認してください。異常が無い場合は、コンプレッサ～エアークロス～エアブラシを接続します。

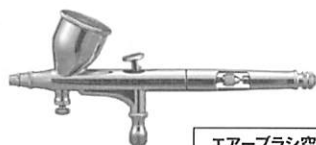
運転中はコンプレッサが熱くなります。火傷する恐れがありますので、操作部分以外は手を触れないでください。

◎コンプレッサと接続する

エアブラシとコンプレッサを接続するエアークロスはエアブラシ専用の作業しやすい、細いホースを使用することをお勧めします。

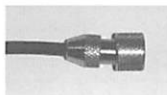
コンプレッサは空気吐出口の大きさが機種によって異なります。エアークロスの空気取入口はG1/8オスです。(JIS規格)コンプレッサの空気吐出口はG1/8オスとG1/4オスの2種類があります。エアークロスの空気取入口とコンプレッサの空気吐出口に合わせてホースを選びます。

また、ホースのジョイント部分が異なる場合は変換ジョイント(HPA-J1/HPA-J2)を使用すれば接続が可能になります。

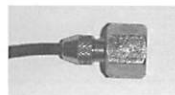


エアブラシ空気取入口
G1/8オス

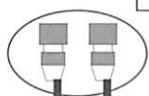
エアークロス取付口



G1/8メス



G1/4メス



ホース:G1/8メス

コンプレッサ空気吐出口
G1/4オス

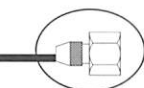
IS-925/875



IS-925HT / 875HT



IS-975MB



ホース:1/4メス

コンプレッサ空気吐出口
G1/8オス

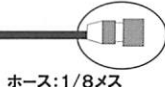
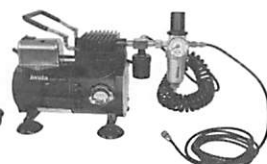
IS-800J



IS-50



IS-850



ホース:1/8メス

◎水分や埃について

梅雨時期や雨・湿度の高い日などは空気中の水分が多く含まれます。その空気を圧縮するため、コンプレッサ本体からホースなどに溜まった水分が、エアブラシから噴出することがあります。

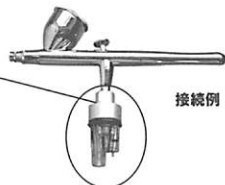
コンプレッサから出る、水・油・塵埃を除去するためには“エアフィルタ”を使用してください。さらにエアブラシに直接接続するミニグリップフィルタ(HPA-MGF)を使用すると、水分除去に効果的です。



フィルタレギュレータ(HPA-FR)



ミニグリップフィルタ (HPA-MGF)



接続例

◎1台のコンプレッサに数本のエアブラシを接続するには？

作業効率を良くするため、1 台のコンプレッサに数本のエアブラシを接続するにはコンプレッサやレギュレータ等に分岐するジョイントを接続して、複数のエアブラシを接続する方法があります。

また、エアブラシとエアホースを簡単に取付け・取外しのできるクイックジョイント(HPA-QJ)を使用する方法もあります。



●エアホース(HPA-SH32)

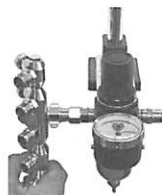
接続したいエアブラシの本数分のエアホースを用意します。

●5連バルブジョイント(HPA-VJ5)

ホースを5本まで接続できるジョイント。バルブコック付で個別に空気調節機能があり、5本接続しなくても使用できます。



接続例①
直接コンプレッサに接続



接続例②
フィルタレギュレータに接続。(フィルタレギュレータはエアブラシハンガーに取り付け可能です。)



●エアホース(HPA-SH32)

分岐するには、エアブラシ・エアホース各2本必要です。

●三叉ジョイント(AJ-1)

2本エアブラシ接続できるジョイント。



接続例
両側にエアブラシを接続します。

Set up

接続方法

◎ IS-50接続方法



コンプレッサと専用のコイルホースを接続します。

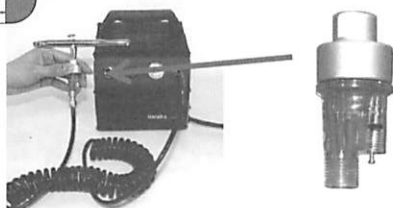


反対側にエアブラシとコイルホースを接続します。



接続完了

Version UP!



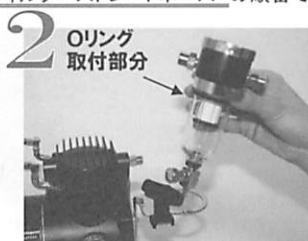
IS-50 コンプレッサにはフィルタが付属していません。水分対策には、エアブラシに直接接続する、ミニグリップフィルタ (HPA-MGF) を取付けることをお勧めします。

◎ IS-800J接続方法

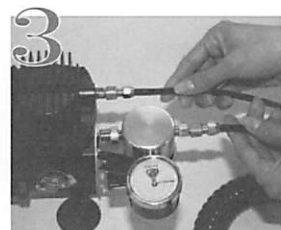
*コンプレッサ～コイルホース～エアフィルタ～ストレートホース の順番で接続します。



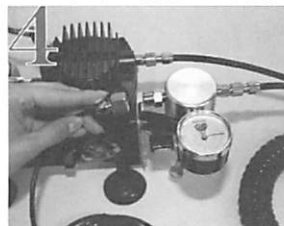
IS-800Jコンプレッサには、エアフィルタ・コイルホース・ストレートホース・Oリングが付属しています。



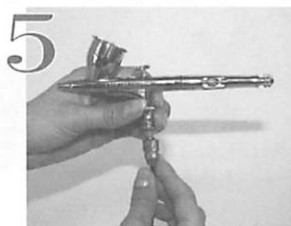
接続する前に、フィルタに振動防止の O リングを取付し、フィルタホルダーにエアフィルタをセットします。



図のようにエアフィルタをセットしたら、コンプレッサ～コイルホース～エアフィルタを、接続します。フィルタの接続口の大きさが異なります。(入口:1/8 出口:1/4)



エアフィルタの出口にストレートホースを接続します。



ストレートホースの反対側にエアブラシと接続します。



接続完了

◎ IS-850 接続方法

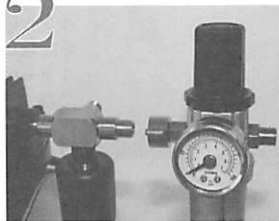
*コンプレッサ～コイルホース～エアフィルタ～ストレートホース の順番で接続します。

1



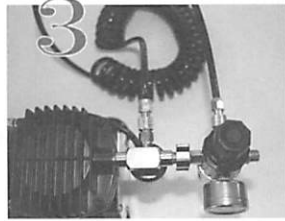
IS-850 コンプレッサには、フィルターレギュレータ・コイルホース・ストレートホースが付属しています。

2



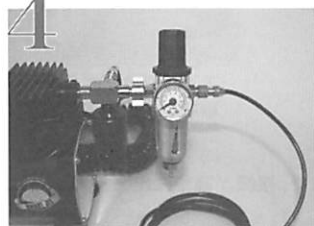
コンプレッサにフィルターレギュレータを接続します。

3



図のようにエアフィルタをセットしたら、コンプレッサ～コイルホース～エアフィルタを、接続します。

4

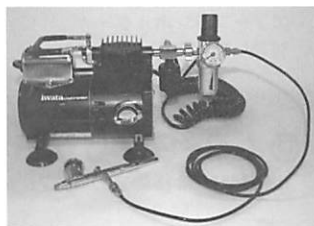


エアフィルタの出口にストレートホースを接続します。

5



反対側にエアブラシとストレートホースを接続します。



接続完了

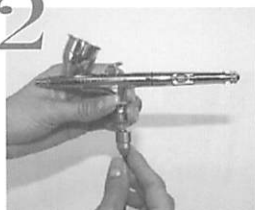
◎ IS-875/925 接続方法

IS-875/925 はレギュレータ・除湿フィルタが本体に一体化されていて、接続が簡単に出来ます。



IS-875/925 には専用のストレートホースが付属しています。コンプレッサと専用のストレートホースを接続します。

2

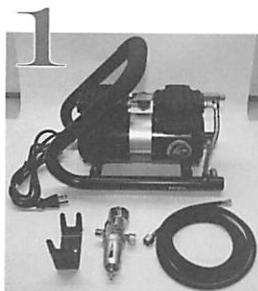


反対側にエアブラシとストレートホースを接続します。



接続完了

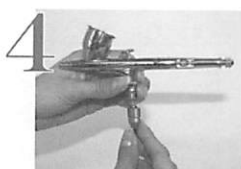
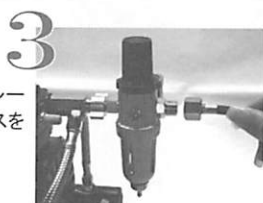
◎ IS-875HT/925HT接続方法



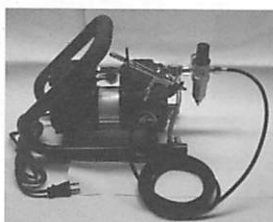
IS-875HT/925HTコンプレッサには、フィルタレギュレータ・ブレードホース・エアブラシホルダーが付属しています。



フィルタレギュレータにブレードホースを接続します。



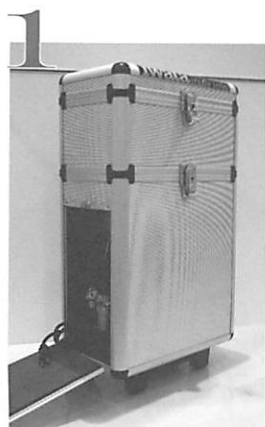
反対側にエアブラシとブレードホースを接続します。



エアブラシホルダーを取り付けて、接続完了

◎ IS-975MB接続方法

IS-975MBは移動式のコンプレッサで取出さずそのままセッティングが可能で、接続が簡単に出来ます。



IS-975MBには、フィルタレギュレータ・ブレードホース・専用ハンガーが付属しています。サイドパネルを開けます。



緩衝材を取り除きます。



ブレードホースを接続します。(オプションで2本のホースを接続することも可能です。)



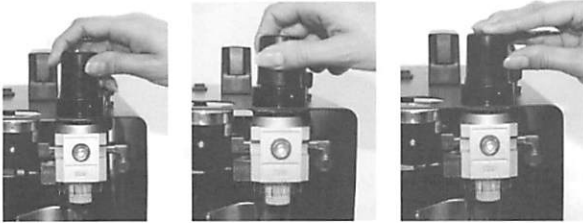
反対側にエアブラシとブレードホースを接続します。



専用ハンガーを取付接続完了

◎レギュレーターの調節

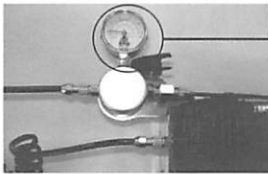
IS-875/925 の場合は、減圧弁+圧力調整ノブにて調節します。
 圧力調整ノブがカッチッと音がするまで引き上げ、時計回り(圧力上昇)、反時計回り(圧力下降)に回転させ、調節します。
 調節後は、圧力調整ノブを音がするまで押し下げてください。



IS-800J の場合は、圧力調整ツマミにて調節します。時計回り(圧力上昇)、反時計回り(圧力下降)で調節します。
 ※IS-800J コンプレッサは空気を逃がしながら圧力を調節する(逃し弁式)もので圧力調節ツマミからエアーが出ていても故障ではありません。

◎使用圧力の目安は？

使用圧力は 0.1~0.2Mpa 程度に調節するのが通常の目安です。エアブラシを使用すると圧力が下がりますので、使用時に 0.1~0.2Mpa に設定してください。
 圧力を高く設定すると、飛散が多くなり、低いと粒子が粗くなります。



<エアブラシ使用前>

<エアブラシ使用時>
圧力が下がります。

◎終了時のメンテナンス

作業終了後は電源スイッチを“OFF”にし、コンプレッサ内の圧縮空気を完全に吐き出します。

長時間コンプレッサを使用すると、フィルタボールにドレン(水分)が溜まります。

ドレン(水分)をフィルタボールの底部にある排出口を下から押し上げ、圧縮空気とドレンを完全に抜き取る方法もあります。

※注 ドレンが勢いよく吐出しますので、布などを使用してください。回りを汚す可能性があります。



フィルタボールの底部にあるツマミを押し上げます。
 ※水分が勢いよく吐出しますので、布などで、押し上げてください。



フィルタ部分は取外しが可能です。内側を清掃してください。

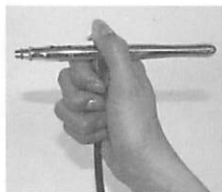
◎持ち方は？

ダブルアクション



●人さし指

ペンを持つ要領で軽く握ります。微妙な操作がしやすい。押しボタンタイプのエアブラシで最も一般的な方法。



●親指

疲れにくいので長時間の操作や垂直ブラッシングに適しています。微妙な調節には不向き。

トリガーアクション



●人さし指

スプレーガンと同じように人差し指でトリガーを引く方法。



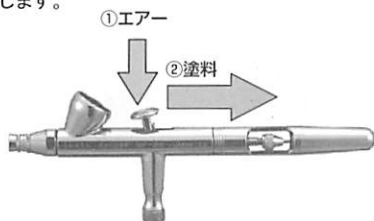
●中指

トリガーを中指で引く方法。

◎操作方法

ダブルアクション

- ①押しボタンを下に押すとエアが出ます。
- ②押しながら(エアを出したまま)手前に引くと塗料が噴出します。



トリガーアクション

- ①軽く握ると空気が噴出します。(一段吹き)
- ②さらにしっかり握ると塗料が噴出します。(2段吹き)

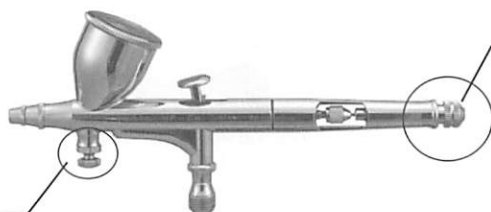


Point

押しボタン(またはトリガー)の引き具合で塗料の量を調節します。

◎機能説明

エアブラシには2つの機能があります。機種によって機能の有無が異なります。



※空気調節ツマミ

手元で空気量の調節が出来ます。

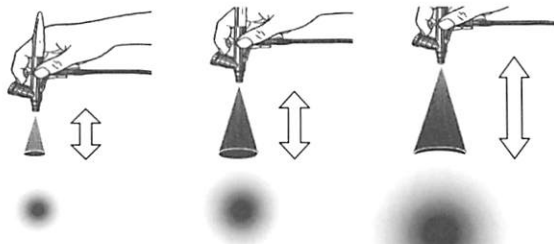
※プリセットハンドル
手元で塗料の噴出量を調整できます。

◎吹付け方

点を描く

エアブラシの噴霧方式は丸吹きです。一度に吹付けようとせず、薄く重ね塗りが基本です。一定のスピードで平行に動かし、均一に吹付けられるように練習しましょう。

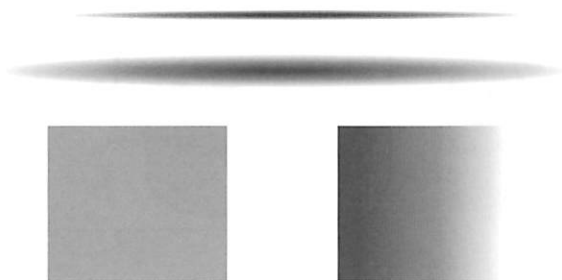
エアブラシを塗装面に近づけたり離したりすることで吹き付けパターンが変わります。距離が近いと小さい点、遠いと大きい点になります。塗料の噴出量を調整しながらいろいろな大きさの点を描いてみましょう。



線・面を描く

点を描いた要領で横に移動させることによって線を描くことが出来ます。点と同様に塗装面に近づけると、細い線、遠いと太い線になります。最初に試し吹きを行い、適正な距離や吹付け状態を確認することで、失敗を防ぐことが出来ます。

面は、太い線を吹き重ねて描きます。距離と塗料の量を一定に保ちムラなく仕上げます。グラデーションも練習しましょう。



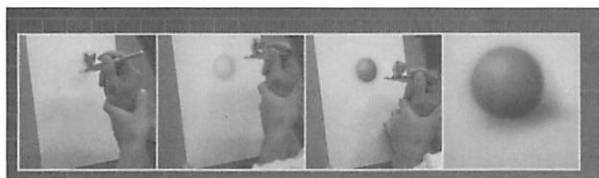
Point

下記のようになってしまった場合は、手の運び具合や塗料の出し方を考えてみましょう。



円を描く

最初から強くラインを描いたりせず、少量の塗料で薄く吹付け、徐々に形をそろえながら球を描いていきます。フリーハンドで綺麗な球を描くことが出来れば、立派なエアブラシペインターです。

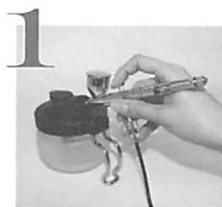


Point

距離や吹付け方法をよく考え、輪郭をシャープにしたり、綺麗にグラデーションを描くことが出来ます。

◎色換え方法

使用後はもちろん、色を換える時はしっかり洗浄しましょう。洗浄を怠ると塗料が混ざり、仕上がりに影響します。汚れがひどい場合やつまりが気になる時は、分解洗浄をおすすめします。



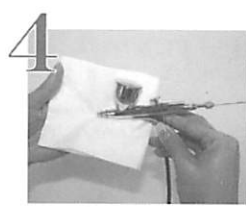
1 カップに入っている塗料を捨てます。



2 水やクリーナーを入れ塗料経路を十分に洗浄します。



3 カップ内の汚れはウォッシングブラシなどを使用し、洗浄します。作業を数回繰返し、カップ内をきれいになります。



4 エアブラシ本体もやわらかい布やペーパーで拭き取ります。

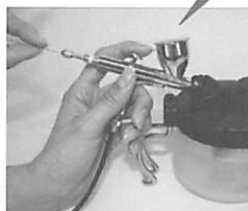
Point



☆ノズルキャップの先端を指で押さえ、押しボタンを操作すると、ノズル内の空気が逆流し、うがいを行う効果になり、ノズル内を洗浄します。

Point

☆塗料経路を洗浄するとき、ニードルを前後に動かすと水の流れが良くなります。ニードルは曲がりやすいので、無理やり押込まず、丁寧に扱ってください。



Cleaning Item

カップに残った塗料や洗浄時に便利なエアブラシクリーニングポットを使用すれば、ミストが飛散らずクリーンな作業環境が保てます。

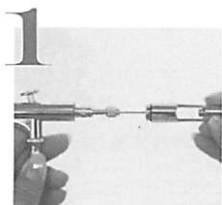
HPA-ACP
エアブラシクリーニングポット



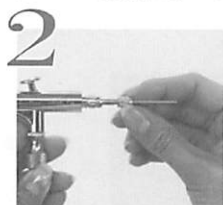
◎分解洗浄

つまりが気になる場合や定期的なお手入れには分解洗浄をおすすめします。洗浄を怠ると、エアブラシ内部で塗料が固まってしまう、つまりの原因になります。

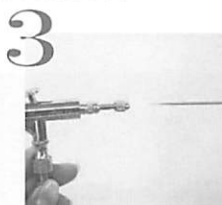
ニードル・ノズルは曲がりやすいので、分解洗浄には注意が必要です。



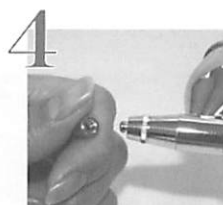
1 本体のキャップを外します。



2 ニードル止ネジをゆるめます。



3 ニードルをゆっくり引き抜きます



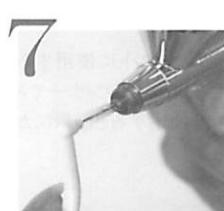
4 次に、ニードルキャップを外します。



5 ノズルキャップを外します。



6 ノズルを専用スパナで取外します。



7 ノズル経路は筆や歯間ブラシなどで洗浄すると良いでしょう。

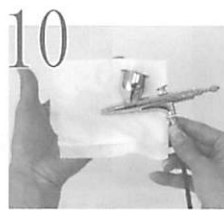
Point



8 外したノズルキャップ・ニードルキャップも洗浄します。



9 ニードルに付着した塗料をふき取ります。



10 エアブラシ本体もやわらかい布やペーパーで塗料を拭き取ります。

☆ニードルキャップ・ノズルキャップ・ノズルなど汚れがひどい場合はクリーナーなどに浸けておきます。

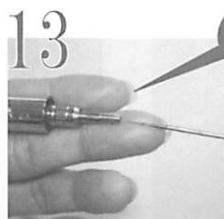
※注: エアブラシ本体はシンナー等の液中に浸さないでください。パッキン類の損傷原因になります。



11 専用のスパナでノズルを取付けます。



12 ニードルキャップ・ノズルキャップを取付けます。



Point

☆ニードルが曲がらないように、指を添えて、ゆっくりと戻します。

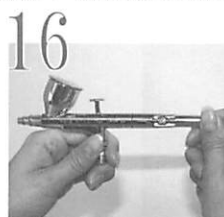
※ニードルを戻すと先端から突起します。ニードルキャップを必ず取付けてから、ニードルを戻してください。



14 指でニードルが止るとことまで、ゆっくり押します。強く押し込むと、ノズルの破損の原因になります。



15 ニードル止めネジをしっかり締めます。

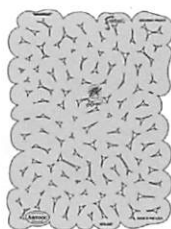


16 キャップを取付け分解洗浄完了です。(確認のため水などで試し吹きしてください)

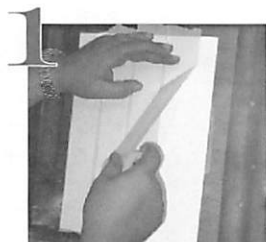
◎カスタムペイントテクニック

バイクや車などのカスタムペイントに使用する塗料は溶剤系塗料が主に使用されています。粘度は水を目安に専用シンナーで希釈してください。

テンプレート(耐溶剤性)を使用すると簡単にカスタムペイントが楽しめます。



HPA-KFX6
テンプレート



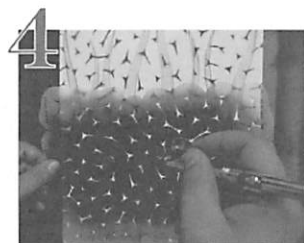
1 マスキングテープで全体を覆います。



2 マスキングの上にファイヤーパターンを描きます。



3 描いたファイヤーパターンに沿ってカットし、塗装したい面をはがします。



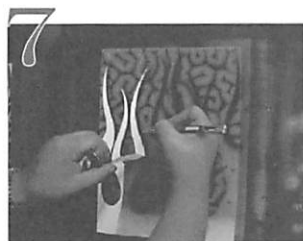
4 残ったファイヤーパターンの上からテンプレートを使い模様をつけます。



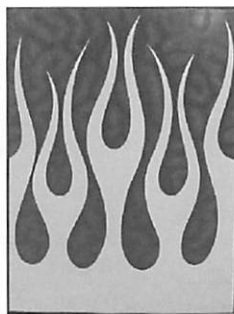
5 フリーハンドで立体感が出るよう陰影をつけます。



6 上から透明色の塗料を吹付けます。



7 残っていたマスキングテープをはがして完成です。



完成図

◎Tシャツアート

Tシャツアートに使用する塗料は専用のテキスタイルカラーを使用します。
キャンパスや紙はもちろん、布・皮・木材など、どんなものにもペイントできます。
水性カラーなので、シンナーなどの嫌な臭いがしません。薄めずそのまま使用します。



テキスタイルカラー

Variation1



1 Tシャツにプリントしたい文字をくりぬき
カッティングシールなどを貼ります。



2 エアブラシで吹付けます。



定着図



3 カッティングシールをはがします。



4 乾いたら、アイロン(もしくはドライヤー)をかけた定着します。

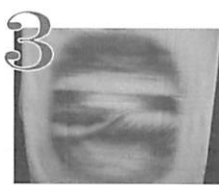
Variation2



1 Tシャツに描きたい模様や絵
を鉛筆で下書きします。



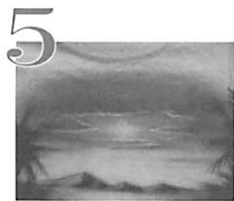
2 エアブラシで薄く下書き
します。



3 全体に色を付けます。



4 細かい部分を描きます。



5 ホワイトでハイライトを入
ると、全体が引き立ちます。



6 乾いたらアイロン(もしくはドライ
ヤー)をかけた定着します。



定着図

◎ネイルアート

エアブラシネイルアートはムラのない吹付けと、筆では得られない極細線・ボカシ・グラデーションなど繊細な表現が簡単に描けます。

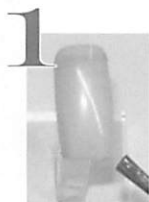
ネイルアートの色材は、アクリル絵具（水性）が主に使用されています。

専用のネイルアートカラーとステンシルを使用すると様々なバリエーションが楽しめます。



ネイルアートカラー

Variation1



1 爪もしくはネイルチップにベースコートを塗り、よく乾かします。



2 2種類のベースカラーを吹付け、グラデーションを作ります



3 ベースカラーがよく乾いているのを確認し、ステンシルを使ってデザインを吹付けます。ステンシルは爪の形に合わせて押さえつけてください。

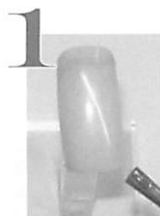


4 よく乾いているのを確認し、パーニッシュを吹付けます。



5 乾いたら、トップコートを塗り完成です。

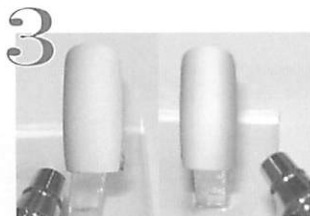
Variation2



1 爪もしくはネイルチップにベースコートを塗り、よく乾かします。



2 エアブラシで爪全体にベースカラーを吹付けます。



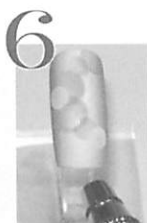
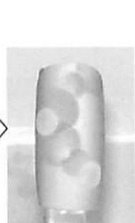
3 ベースカラーが乾いたら、両側にカラーを吹き付けます。



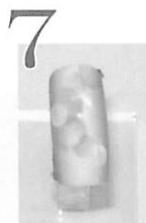
4 ステンシルは爪の形に合わせて押さえつけてください。



5 繰り返しステンシルを使ってパタンよく吹付けます。



6 よく乾いているのを確認し、パーニッシュを吹付けます。



7 乾いたら、トップコートを塗り完成です。

Nail-Art Item

NAT201
パーニッシュ

トップコートの前にエアブラシで薄く吹付ける定着材。トップコートによるアート引きを防ぎます。



◎ボディアート

ボディアートは腕や背中はもちろん、胸元など体のあらゆるところに描くことが出来ます。

ペイントやシールとは違い、違和感のないリアルなボディアートが楽しめます。

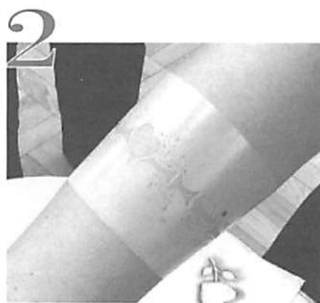
専用のボディカラーとステンシルを使用すると簡単にエアブラシボディアートが楽しめます。手入れにもよりますが、シャワーを浴びる程度なら、2～5日ほど持ちます。



ボディアートカラー



1 ステンシルはシールタイプになっているため、台紙から剥がし、肌に貼り付けます。



2 透き間を作らないように肌にぴったりとはり付けてください。



3 ステンシルの上からエアブラシで吹付けます。エアブラシカラーをよく振ってお使いください。(カラーを混ぜ合わせて使用することも出来ます。)



4 ステンシルをゆっくと剥がします。



5 乾いた後で、専用のセッティングパウダーで定着させ完成です。

エアブラシのトラブルやメンテナンス方法についてお答えします。

Q : エアーは出るのに塗料が出てこない!

- A** : ●ニードル止ネジが緩んでいると、ニードルがスライドしません。しっかり閉めてください
 ●ノズルキャップが緩んでいると、エアークが逆流します。ノズルキャップをしっかり閉めてください。
 ●プリセットハンドル付のエアブラシはプリセットハンドルが全閉の時は塗料が噴出しません。プリセットハンドルをゆるめてください
 ●長時間の使用で、ノズル内やニードルに塗料が固まってしまい塗料が出てこない事があります。
 ノズル・ニードルを洗浄してください。



Q : 吹付けたパターンがいびつになってしまう!

- A** : ●角度は吹付ける(被塗物)面に対して直角ですか?
 ●塗料の粘度が高いときれいな吹付けが出来ません適度に希釈してください。
 ●ニードルが曲がっていると、パターンがいびつになってしまいます。
 (ニードルの先端は大変曲がりやすいので、ニードルキャップを外している時や洗浄時は特に注意してください。)

Q : エアブラシの接続口はどのメーカーも同じですか?

- A** : ●ほとんどが共通です。メーカーのほとんどが、JIS規格 1/8 オスを使用しています。
 ジョイント部を変換して使用できる場合は変換ジョイントで接続口を合わせ使用します。
 稀に使用できない機種もあります。

Q : 使用していると、エアブラシから水が出てくる!

- A** : ●空気中の水分量が多いとき(とくに雨や梅雨時期など)にその空気を圧縮するため、水分が出やすくなります。
 ●ホース内に水分がたまっていることがあります。
 エアブラシを外し、エアーを吐出させ、ホース内の水分を取り除いてください。
 ●エアフィルターを接続することをお勧めします。この場合、コンプレッサからなるべく離して接続すると、水分がより効果的に取り除くことができます。
 エアフィルター内にも水分が溜まりますので、定期的に水抜きをしてください。(参考 10 ページ)

Q : どんな塗料を使えばいいですか?

- A** : ●使用用途によりますが、基本的に希釈できる塗料であれば、どんな塗料でも使用可能です。
 エアブラシで使用する塗料は筆で使用する場合より希釈して使用してください。粘度は水を目安にしてください。
 溶剤系の塗料でも、耐溶剤のテフロンパッキンやボトルキャップを採用しているので、使用可能です。
 粒子の入っている塗料(顔料・メタリックなど)は、ノズル内で詰まってしまうので、おすすめできません。
 2液性(硬化剤入り)の塗料などは、エアブラシの塗料経路で固まってしまい、詰まってしまうので、すぐに洗浄するか、使用はさけてください。

Q : 使用中に塗料カップから泡がでて逆流してしまう！

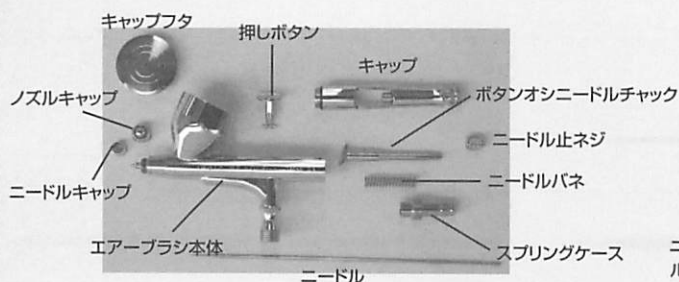
A : ノズル・ニードルの間に隙間ができ、エアーが逆流します。
ノズルやノズルキャップは緩んでいませんか？
緩みや洗浄をしても逆流してしまう場合は、ノズルが破損している可能性があります。破損しているときは部品を交換してください。

Q : ダブルアクションなのに押すだけで塗料が出てくる！

A : ノズル・ニードルが通常は塗料を塞いでいるのですが、ノズル・ニードルに隙間ができている可能性があります。ニードルを適切な位置に戻すが、ノズルが破損していないか確認してください。また、ニードルを強く入れすぎたり、曲がったニードルでノズルが破損してしまいます。破損しているときは部品を交換してください。

Q : 分解したら、取付けできなくなってしまいました。

A : エアブラシは小さな部品で構成されています。失くさないように注意してください。



Point



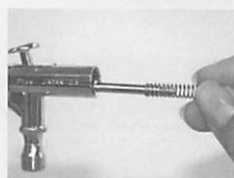
ニードルが突起しているので、ニードルを戻す前に、ノズルキャップ・ニードルキャップを先に取付けてください。



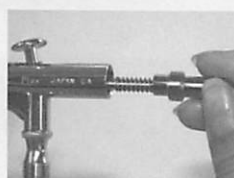
押しボタンを適切な位置に戻します。



ボタンオシニードルチャックを取付けます。



ニードルパネを取付けます。



スプリングケースをしっかりねじ込みます。



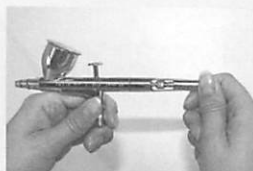
ニードルを戻します。(曲がりやすいので丁寧に扱ってください。)



ニードルを適切な位置までゆっくり差し込みます。



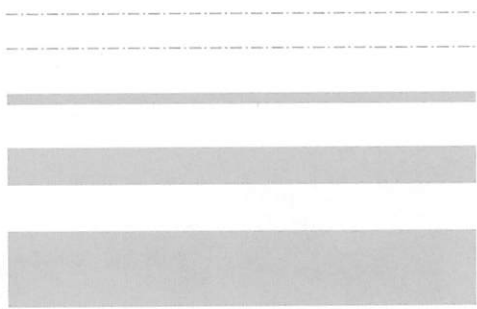
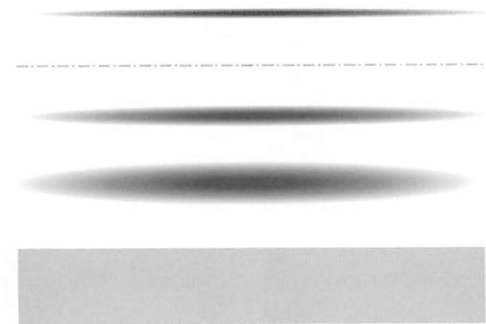
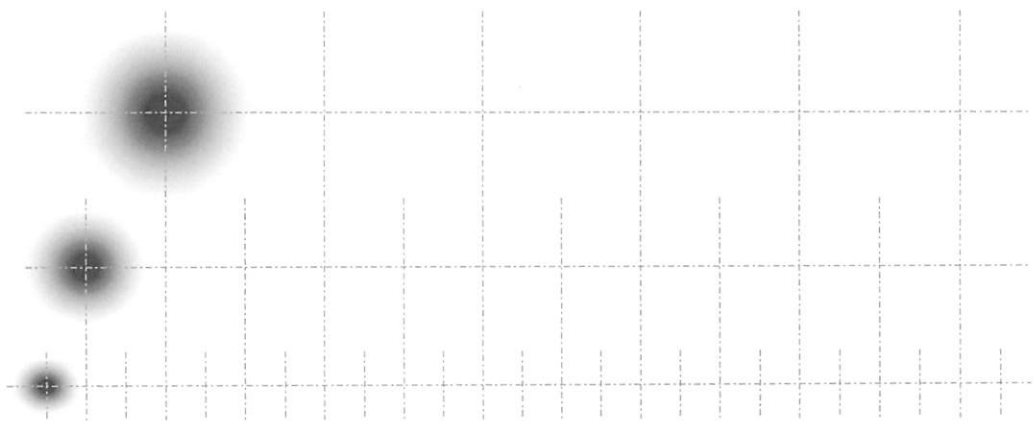
ニードル止めネジをしっかり固定します。



本体キャップをかぶせ完了です。(確認のため試し吹きをしてください。)

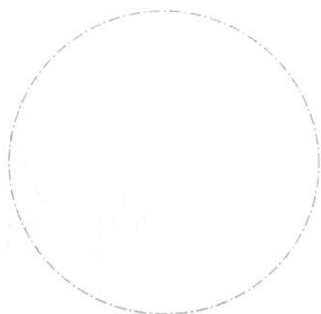
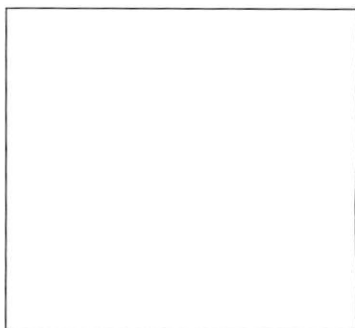
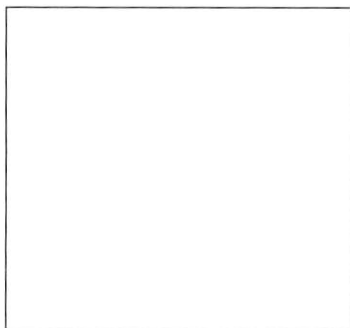
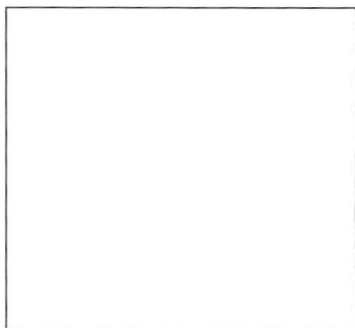
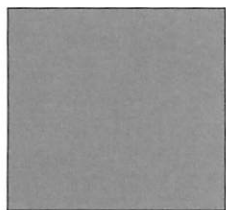
Try!

Lesson Text



Try!

Lesson Text





アネスト岩田株式会社

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町3176
塗装機部エアブラシチーム
TEL (045) 591-1118 FAX (045) 591-1137
<http://www.anest-iwata.co.jp/>

〒734-0023 広島市南区東雲本町一丁目9番1号
有限会社 松谷塗料店
TEL (082)-282-7727 FAX (082)-282-7746
<http://www.matsutanitoryouten.jp>
[mail://info@matsutanitoryouten.jp](mailto:info@matsutanitoryouten.jp)